

貸借対照表

令和 1年12月31日 現在

丸山工業株式会社

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	880,037,361	【流動負債】	789,114,947
現金預金	343,508,321	未払金	234,685,524
受取手形	49,627,160	未払法人税等	24,341,400
完成工事未収入金	38,260,575	未成工事受入金	526,117,161
未成工事支出金	414,442,426	預り金	3,970,862
材料	1,143,528	【固定負債】	25,807,333
貯蔵品	2,085,785	長期未払金	15,507,191
前払金	714,433	退職給付引当金	10,300,142
未収入金	1,527,551	負債の部合計	814,922,280
未収消費税等	28,727,582	純資産の部	
【固定資産】	114,221,529	【株主資本】	179,336,610
【有形固定資産】	97,963,071	資本金	20,000,000
建物	14,564,178	利益剰余金	159,336,610
建物附属設備	628,486	利益準備金	5,000,000
構築物	2,142,391	その他利益剰余金	154,336,610
工具器具備品	545,469	繰越利益剰余金	154,336,610
土地	80,082,547		
【無形固定資産】	699,016	純資産の部合計	179,336,610
電話加入権	548,182		
ソフトウェア	150,834		
【投資その他の資産】	15,559,442		
投資有価証券	3,375,190		
出資金	300,000		
保険積立金	11,884,252		
資産の部合計	994,258,890	負債及び純資産合計	994,258,890

注 記 表

丸山工業株式会社

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は移動平均法による原価法によっております。

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 材料・・・先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）によっております。

(2) 未成工事支出金・・・個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）によっております。

(3) 貯蔵品・・・先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）によっております。

3. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産の減価償却方法は平成10年4月以降取得建物及び平成28年4月以降取得建物附属設備並びに構築物の定額法を除き定率法によっております。

(2) 無形固定資産の減価償却方法は定額法によっております。

(3) 長期前払費用の償却方法は定額法によっております。

4. 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金は債権の回収可能性を検討し回収不能見込額がある場合に計上します。

(2) 退職給付引当金は従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に対し中小企業退職共済及び養老保険等を考慮して不足額を計上します。

5. 消費税等の会計処理

消費税の処理は税抜き方式によっております。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 40,158千円

有形固定資産の貸借対照表科目表示について機械装置は重要性が乏しいため構築物に含めて表示しています。

2. 関係会社に対する金銭債権債務

短期金銭債務 52千円

3. 期末日が金融機関休日のため受取手形に期末日満期手形2,540千円が含まれています。